

令和6年度 第1回 勝山警察署協議会 開催結果

1 日時
令和6年5月8日（水）午後4時00分から

2 場所
勝山警察署

3 出席者
○ 協議会委員 5名
○ 勝山警察署 署長以下7名

4 内容

(1)協議会会長挨拶

(2)警察署長挨拶

(3)自己紹介

(4)議題

ア 事務概況報告

イ 本年度の課題と取り組み

(5) 質疑・意見及び応答

【委員】

コンビニでの特殊詐欺被害防止の為に「ダミーの電子マネーカード」について、この考え、方法は、非常に良いと思う。高齢者だと騙されてコンビニへ電子マネーカードを買いに行ってしまうと思うので、このような方法なら、コンビニの店員も気づくと思う。

➤警察

コンビニ店員の中には、電子マネーカードを買いに来た人に、「それは詐欺ではないですか」などと声をかけにくい人もいます。コンビニ店員の方が声をかけやすいように、この方法をとっています。

【委員】

リュウピーネットなどのSNSで、不審者情報を目にすることがあります。警察の方が勝山市内を警戒してくれていると思うが、その際、どの辺りを警戒してくれたのかについて追加発信をしてけると、住民の安心感も違うと思う。また、学生が帰宅する時間について、部活等で夜遅くなってしまいう学生も多い。その学生達は、大きい道路沿いばかりを通るわけではなく、脇道を通ることも多く、そういう脇道こそ危ないと思うので、住宅街の脇道も警戒して欲しい。

➤警察

当署の警察官が、薄暮時間帯に赤パトによる警戒を実施しています。今後は、部活等で遅くなる学生の事も考慮し、警戒時間の延長や住宅街での警戒を検討します。



【委員】

昨年、勝山市内で発生した連続窃盗事件について、発生したのは、未だに田舎は鍵をかけていない家が多いからだと思う。最近、鍵をかける家は増えてきたが、無締まりの家もまだまだ多い。それに、昔は、県外車両が止まっていれば不審に思ったが、今は恐竜博物館などの関係で、県外車両が増えたこともあり不審に思うことがなくなり、気が緩んでいると思う。「鍵かけ広報」をもっと実施すべきだと思う。

➤警察

これまでに、巡回連絡等を通じて「鍵かけ広報」を実施してきたところであり、その成果もあって、玄関の鍵を締める家は増えてきました。今後も継続して「鍵かけ広報」を実施していきます。

【委員】

ゴールデンウィーク中、交通事故現場を通りかかったことがあった。今年は、恐竜博物館の営業再開、北陸新幹線の県内開業もあった関係で、勝山市へ来る人も増えたが、同時に交通事故も増えたのでしょうか。

➤警察

恐竜博物館の営業再開、北陸新幹線の県内開業に伴い、交通量が増加しており、交通事故も増加しました。管内では、事故の多くは県外の方によるものです。今後、連休等、交通量が増加する時期には特に取締りを強化していきます。

また、レンタカーも増加しています。初めて勝山市に来る人も多く、そのドライバーは地理に不案内であることから、急制動、急ハンドル、ウィンカーを出さずに車線変更することが十分考えられます。県外車両やレンタカーを見かけたら、より気を張って運転するようお願いします。また、速度を出さないこと、車間距離を取ってもらうことにより防げる事故もありますので、日頃から注意して運転していただきたい。

管内において、令和2年に発生した交通死亡事故も、県外から観光に来た方の事故でした。当署では、勝山市の玄関口として、県外の人に多く利用されている中部縦貫道勝山ICにおいて交通指導取締りを実施しています。今後も引き続き、交通指導取締り、ツイッター等のSNSによる交通事故防止の取組を実施していきます。

【委員】

最近よく耳にする「児童虐待」については、どの課が担当しているのでしょうか。また、子供が被害に遭う悲惨な事件が増えているが、最悪の事態になる前に何とかならないものか。「警察に相談していたのに、何故・・・」となる前に、もう一步踏み込んだ対応は出来ないのか。最悪の事態になる前に止めて欲しい。

➤警察

子供が関係する事件事故は、社会的反響が大きい。予兆があったときは先制的に対処していくことが重要であるので、今後も子供が被害に遭わな

いよう、予兆等を見逃さず対処するよう取り組んでいきます。

以上